

KAPLA(カプラ)

1 活動の概要等

カプラは、白木でできた造型遊具です。簡単にいえば「積み木」なのですが、その造型表現の幅広さを考えると、「木製ブロック」と言い換えてもよいでしょう。一見すると単純な板切れです。ところが、形、寸法、仕上げ、素材、全てが計算されつくした「究極の板」なのです。イメージしたものを自由にカタチにできる「魔法の板」です。自分の身長より高く積み上げたタワー。それぞれが作った橋が、一本の道としてつながる瞬間は、心がつながる瞬間でもあります。創作活動から仲間づくりまで、一枚の板から無限の可能性が広がります。

2 時期・時間

年間を通して活動できます。

1～3時間程度（実施方法によって延長・短縮することもできます。）

3 活動場所

小研修室：最大30人程度、中研修室：最大40人程度、大研修室：最大100人程度
※大人数であれば、プレイホール・オリエンテーション室等でも実施可能です。

4 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
カプラ3000枚 (1000ピース入り木製箱×3箱)	活動に適した服装 上靴（靴下可）

※用具等の準備・配置・操作・具体的な活動は、各団体で進めてください。

5 実施例

(1) 事前打ち合わせ

職員と団体の代表者（引率者）が、研修に必要な物品や実施方法等の確認をする。

(2) 活動開始前

- ・団体の代表者は、使用するだけのカプラを活動場所に運ぶ。
- ・ねらいを確認した後で、グループ分け（6～10名程度）を行い、グループの活動場所を知らせる。

(3) 活動例

【高さ比べ】（所要時間30分程度）

- ①作戦タイム（1～2分）
- ②時間（5分～10分）を決めて、グループで競争させる。



③ふりかえり

※1回目の反省を踏まえ、2回目を行うとさらに仲間意識が高まります。

【「未来の町」を創ってみよう】（所要時間60分程度）

①グループごとにテーマを決める

（遊園地、学校、ショッピングモール、高層ビルなど）（10分）

②作品づくり（30分）

③道や橋でテーマごとのゾーンをつなげ、町を完成させる（10分）

④ふりかえり



【「ナイアガラの滝」を全員で創ってみよう】（所要時間30分程度）

①説明を聞く（5分）

②作品づくり（20分）

③「ナイアガラの滝」をくずす（滝のようにくずれます）（5分）



（4）事後指導

- ・ふりかえりを行い、ねらいが達成されたかどうかを話し合う。
- ・協力して片付けを行う。少し揺すりながら入れると1000枚入り、ふたを閉めることができる。
- ・カプラの箱を片付けます。

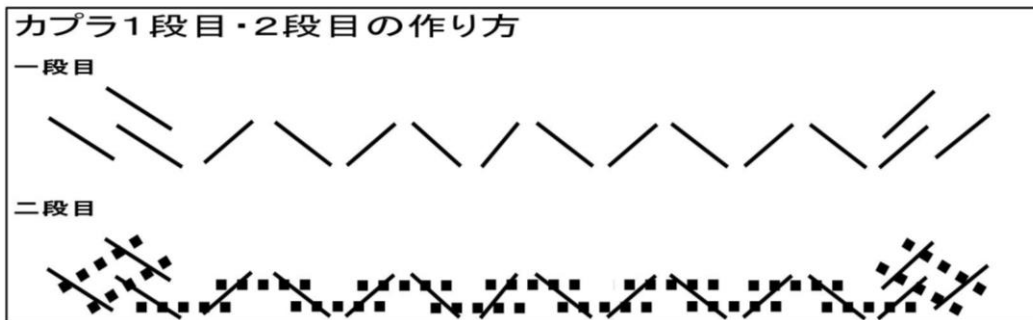
6 留意点

- ・カプラを踏まないためにも、作品を壊さないためにも、走り回るのは厳禁です。
- ・プログラムとプログラムの間など短い時間を利用して充分楽しむことができます。

（参考）

カプラジャパン公式ホームページ（<http://www.kapla.co.jp/what/index.html>）

ナイアガラの滝の作り方



ポイント① 初めてナイアガラの滝を作る時は、2段目までは団体担当者が作っておくと、参加者は真似をして置いていただけなので、安心して積めます。

ポイント② ひざの高さぐらいまで積んだら、立ち上がって上からのぞき込みながら、まっすぐ積むようにしましょう。
(座ったまま積むと、傾いて崩れやすくなる。)

ポイント③ 崩すときは、一番端の井桁（いげた）の下を、「ドカーン」と手の平で思い切り払います。

【活動の様子】



みんなで協力して完成すると一体感が生まれます。



崩す時は、井桁（いげた）の下を思い切り払います。



ゆっくりと滝のように崩れていきます。



すべてきれいに崩れると自然と拍手が起こります。